

岐阜県山県市高富中学校

・原田結花先生

朝の時間帯に、漢字・計算ドリルを使った学習や、読書活動を行っている学校は多いですね。そこに新聞を取り入れてみませんか。

まず「くらしの作文」は毎日、中日新聞朝刊の生活



朝の学習で記事音読

の欄では、最高気温と最低気温の温度差を出せば、計算練習にもなります。

朝刊一面下の「中日春秋」の欄を、十分以内にと1トに毎日書き写す、という学習も有効です。すでに実践している岐阜県内の中学校があり、朝から静かに集中して取り組めるようになった、などの効果を上げているそうです。

くらしの作文を音読するのなら、記事を拡大コピーして黒板に張りましょう。

面に載る読者投稿欄です。五百二十字ほどで、音読練習にも最適。お手本になるアナウンサーの声や、東海テレビのホームページで紹介されています。天気予報

「五分間で三回読んでみよう」などと条件を付けても。漢字にはルビを振ると読みやすくなります。朝の学習が仲間と声を出して始まるってすてきだと思います。いろいろな世代の意見を知ることや、心も育っていくのではないのでしょうか。

新聞が身近な環境づくり①

NIE講座

教育に新聞を